

# 事故報告書

フルーツ・シャトーよいち

総合施設長	副施設長	援助課長	課長補佐	医務課長	相談員	担当

フリガナ	●●●●	男	女	要介護2	移動	<input type="checkbox"/> 独歩 <input checked="" type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> 杖歩行 <input type="checkbox"/> 車椅子 <input type="checkbox"/> その他（夜間は歩行器使用せず。）				
本人氏名	●●●●●●様	94歳								
報告者	●●●●				発生(発見)日時	平成25年05月15日(水) 06:05 分頃				
場所	<input checked="" type="checkbox"/> 居室 <input type="checkbox"/> ホール <input type="checkbox"/> 浴室 <input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> 拠点707 <input type="checkbox"/> 廊下 <input type="checkbox"/> 階段 <input type="checkbox"/> 屋外 <input type="checkbox"/> 送迎車内 <input type="checkbox"/> その他（ベッド右側足元付近）									
状況	<input checked="" type="checkbox"/> 転倒 <input type="checkbox"/> 転落 <input type="checkbox"/> 誤食 <input type="checkbox"/> 誤嚥 <input type="checkbox"/> 誤薬 <input type="checkbox"/> トラブル <input type="checkbox"/> 単独外出 <input type="checkbox"/> 介護中 <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> その他（ <p>他利用者のPトイレ介助中にセンサー反応によるナースコールあり、かけつける途中に「わぁ」と声がある。訪室すると、ベッドと対面に設置してあるPトイレの左側で右側を下に転倒している所を発見する。左まぶたに3cm程の裂傷を確認し、まぶたから出血している。靴は脱げており、足元に散乱してあった。横になったままガーゼで止血する。本人に伺うと「トイレに行こうと思って、立ち上がって1歩、歩いたら転んでしまった。便じゃない。おっこだ。」と話され意識はしっかりとしている。痛い所はないか確認をすると「ぶつけた所だけ」と話される。3分ほどガーゼで圧迫止血し、出血が治まったので職員が抱えてベッドに横になって頂く。夜間Pトイレを設置していたが、転倒時はトイレに向かおうとされ、転倒される。</p> <p>【施設内報告】            5月15日 7:00 ●●副主任援助員から総合施設長に転倒の件報告する。            5月15日 7:30 ●●副主任援助員から援助課長に転倒の件報告する。            5月15日 9:15 ●●副主任援助員から副施設長に転倒の件報告する。            5月15日 9:20 ●●副主任援助員から援助課長補佐に転倒の件報告する</p>									
症状	<input type="checkbox"/> 無傷 <input type="checkbox"/> 表皮剥離 <input type="checkbox"/> 擦過 <input checked="" type="checkbox"/> 切傷 <input type="checkbox"/> 内出血 <input type="checkbox"/> 火傷 <input type="checkbox"/> 腫れ <input type="checkbox"/> 変色 <input type="checkbox"/> 熱感 <input type="checkbox"/> その他（					部位	左まぶた			
	左まぶたに3cmの裂傷確認し、出血している。床にも血痕あり。									
対応	<input checked="" type="checkbox"/> 様子観察 <input type="checkbox"/> 湿布 <input type="checkbox"/> 冷却 <input type="checkbox"/> 吐かせる <input type="checkbox"/> 吸引 <input checked="" type="checkbox"/> 止血 <input checked="" type="checkbox"/> 受診 <input type="checkbox"/> その他（ <p>出血確認後、左まぶたをガーゼで圧迫止血する。3分ほど止血し、出血の治まりを確認したため、職員が抱えてベッドに横にする。その後バイタル測定する。            6:10 ●●副主任援助員から待機看護師に転倒の件を電話連絡する。            待機看護師が施設に到着するまで、左まぶたにガーゼをして止血するように指示あり。            6:40 待機看護師到着する。左まぶた裂傷部位をステリーテープにて消毒後、抑え圧迫固定する。            6:45 待機看護師から副施設長に上申状況報告の上受診する。            6:55 待機看護師付き添い余市協会病院救急外来を受診する。</p>									
バイタルサイン	体温	36.9℃	血压	158 / 94 mmHg	脈拍	83 回/分	SP02	96 %	計測時間	6時8分
要因・原因	<input type="checkbox"/> 見守り不足 <input type="checkbox"/> 知識・技術不足 <input type="checkbox"/> ルール不遵守 <input type="checkbox"/> 情報不足 <input type="checkbox"/> 環境・設備 <input type="checkbox"/> 設備・点検不足 <input type="checkbox"/> 人為的問題 <input checked="" type="checkbox"/> その他（本人の動きに対応できなかったため） <ul style="list-style-type: none"> <li>・排泄動作はできるも、立ち上がりや立位持、歩行時にふらつきがあるため、移乗側に介助バーを設置していた。</li> <li>・自宅では、夜間にPトイレを使用していることから、ベッド右側の対面にPトイレを設置していた。</li> <li>・横になる度にナースコールを促すも、認知面の影響からか使用するには至らなかった。</li> <li>・Pトイレの蓋を開けておき、トイレと認識できるようにしていた。</li> <li>・前立腺肥大により、夜間10~20回の頻度でトイレに行かれる状況があり、排尿後直ぐ尿意を訴えるすることもあった。本人の動きを察知できるようにベッド右側にセンサーを設置して対応していた。</li> <li>・一介助毎に様子確認を行っていた。</li> <li>・ナースコールが鳴り、職員がかけつるも、その大半はベッドに足を降ろして座っている状態であった。</li> <li>・尿意を感じてから起き上がるまでの動作は早く、センサーが鳴り職員がかけつけるも間に合わなかった。</li> <li>・5月8日より微熱が継続し、体調不良であった。13日の受診では問題なく解熱剤のみ処方となった。</li> <li>・前日の排尿の回数や排尿自体が多いことは周知していたが、その日によって排泄の間隔が違った為、排泄パターンをつかめなかった。</li> </ul>									
事故防止対策	<p>初日の転倒後、翌日の夜間から①~③の対応を行っていた。            ①家族に説明を行い、センサーを使用する。            ②居室の前で見守りをしながら記録入力の作業を行う。            ③一人介助が終わる度に様子確認する。</p> <p>上記の内容を継続して対応を行なう。</p>									
	加ファリスの必要性について	<input type="checkbox"/> 不要 <input checked="" type="checkbox"/> 必要								
家族への説明	平成25年05月15日(水)	説明方法	<input type="checkbox"/> 面会 <input checked="" type="checkbox"/> 電話		説明職員	●●副主任援助員				
	家族氏名	●●●●●●様			続柄	長男				
	事故状況の説明と経緯を伝え、謝罪する。また受診する旨を連絡する。●●●様より「直ぐに病院に向かいます」とお話を受ける。									